

PROFILE

1966年熊本市北区植木町生まれ。熊本大学教育学部准教授。職場結婚後、出産。育児と仕事の両立を続ける。夫と双子の子どもと4人暮らし。



仕事と家庭の
メリハリつける
環境づくりを

熊本大学教育学部

熊本市中央区黒髪2-40-1

URL: <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

—「家政学」とはどんな学問ですか。

八幡 人間のより良い生き方や衣食住に関わる暮らし方、家族、保育、高齢者の生活などについて考える分野です。お金や時間、エネルギーの管理を生活の視点で考えます。ワーク・ライフ・バランスといった家庭生活と仕事の両立なども含まれています。

—「家政学」に興味を持ったきっかけをお聞かせください。

八幡 高校のときの進路適性検査で向いていると判定されました。大学で深く学ぶうちに、人の生活が社会に応じて変化している面白さに気づき、家政学の研究の道へと進みました。一どのように「ワーク・ライフ・バランス」を実践されていますか。

八幡 独身のころは夜中まで研究に励んでいた時期もありましたが、出産してからはそんな働き方はできな

くなりました。そのころ、ちょうど熊本大学でも男女共同参画に力を入れ始めていた時期で、私も他大学の取り組みを勉強に行きました。そんな中、視察で行ったお茶の水女子大学が取り組んでいた「午前9時から午後5時まで集中して仕事をし、残りの時間を家庭や地域のために使う『9時~5時ワーク』」を知り、熊本大学でも取り入れようと提案しました。そうすることで仕事はきっちり、地域や家庭のこともしっかりとメリハリをつけて生活できる環境づくりに取り組みました。その結果、勤務時間外の会議が少なくなりました。家庭のことは、優れた家事能力を持つ夫と協力しながらバランスよくやっています。現在は子どもに手がかからなくなってきたので、仕事にかかる時間が増えていますね。

—今後の取り組み課題や目標を教えてください。

八幡 2015年に熊本市で中学校技術・家庭科の九州大会があり、5年後には小学校の全国大会があります。そこで家庭科の先生たちのバックアップをしたいと思っています。また、自分の経験を地域の暮らしに役立て、男女共同参画の推進にも力を入れていきたいです。

輝きの軌跡

八幡彩子さんの
キャリアストーリー

- 1991年 お茶の水女子大学大学院家政学研究科修了。県立鹿本農業高校勤務
- 1993年 尚絨短期大学家政科に勤務
- 1996年 熊本大学教育学部勤務(専任講師)
- 1999年 助教授に就任。結婚
- 2000年 双子を出産する
- 2007年 准教授に配置換
- 2009年 熊本大学男女共同参画コーディネーターに就任
- 2013年 くまもと市男女共同参画会議委員(副会長)就任

私の場合、大学での学びにこれからの人生を決める新しい出会いがありました。学びや交流の中で夢を持ち、その夢を実現するために努力してほしいですね。

